

マスクを買う前に正しい情報を



「どこに行ってもマスクが売っていない！」——そんな現在の異様な状況を、皆さんも実際に体験しているのではないのでしょうか。現在、世界中で「**新型コロナウイルス**」の感染による肺炎」が注目されています。2020/2/11にはWHOによってこの病気が「**COVID-19**」と命名されました。今回はそんなウイルスによる病気と、情報に関するお話をしようと思います。

○コロナウイルスとは？

そもそもコロナウイルスとは何かをみなさんは知っていますか？ コロナウイルスとは、発熱やせき、鼻水のような症状を引き起こすウイルスで、人に感染するものは6種類が分かっています。うち4種は一般的な「風邪」の原因で、全体の10~15%がコロナウイルスによるものです。一方で、他2種はMERSやSARSといった重症化する場合のある病気の原因になるウイルスです。このことから、身近な存在でもあり、危険な存在でもあるウイルスであるということが分かります。では、コロナウイルスはどのようにして感染していくのでしょうか？

○主な感染経路

主な感染経路は2つ。**くしゃみやせき、つばに含まれるウイルスを直接吸い込む**ことによる「飛沫感染」と、**ウイルスがついたものに触れた手で口や鼻を触る**ことによって感染する「接触感染」です。



○マスクは効果があるのか？

まず、飛沫感染についてですが、これはよほどの近距離でない限り、リスクの低い感染経路です（通学通勤ラッシュの満員電車レベルでは気にする必要あり）。一方で、気を付けるべきは接触感染。くしゃみなどを直接吸い込むことはなくても、くしゃみ（ウイルス）が付着した物を触る可能性は非常に高いです。このことから、**予防で重要なのはマスクよりも手洗い（+消毒）**であることが分かります。実際に、厚生労働省などのHPでも**相当混み合っている場所でない限り、マスクを着用することによる効果はあまり認められていない**と記載されています。しかし、マスクが何の意味もないかということそうではありません。マスクが最も効果を発揮するのは、「すでに感染している人が着用した場合」です。感染者がマスクをすることによって、飛沫が周囲に飛ぶのを防ぐことができます。ただ、（現状では）焦ってマスクを大量に購入する意味はないということですね。ちなみにこのような感染予防策は、普通の風邪やインフルエンザ等でも同じです。マスクを多くの人が着用することによって、「自分に感染するのを予防する」ことはできなくても、「感染が多数の人に広がるのを予防する」ことができるというわけですね。

○正しい情報の大切さ

今後 COVID-19 がどのようなようになっていくかはまだわかりません。世界中で対策が進んで数が減っていくかもしれませんが、インフルエンザのように流行を繰り返すことになるかもしれません。まだまだ不確定なことが多い現状で、最も大切なことは**「正しい情報」を得ること**です。SNS やメディアで取り上げられる情報の中には間違っただけのものもあります。そんな情報を信じてむやみに不安がるよりも、正しい情報をきちんと入手して、行動していくことが大切です。大量の情報にあふれるこの時代だからこそ、情報に振り回されないようにしたいですね。（早）

参考文献

- ・ 新型コロナウイルス感染症について 厚生労働省
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- ・ 新型肺炎の病名「COVID-19」 WHO 発表 : 日本経済新聞
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO55503890S0A210C2000000/>